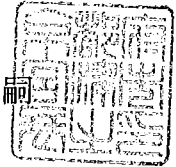


宮建設第 262 号
平成 20 年 10 月 28 日

国土交通省道路局長 様

宮津市長 井 上 正 嗣



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

平成 20 年 9 月 19 日付け国道企第 37 号で依頼のありました上記のことにつきまして、別紙のとおり提出します。

今後の道路行政についての意見・提案

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

本市においては、高速道路ネットワークが未完成、自然災害に対し脆弱な道路が多い、通学路の未整備・高齢化社会に対応できていない歩行空間が多いなど、市民生活に欠かすことのできない道路整備が遅れている。

そうした中で、地域の実情に応じた施策を重点的に推進していただきたい。

①産業活動、観光等の活性化を促す基幹道路の整備

②地方の雇用、生活、文化、医療等の観点からの生活道路の整備

今後の道路行政についての意見・提案

②-1 地域の現状と抱える課題

○現状

財政再建と経営改革を柱とした「宮津市行政改革大綱2006」を策定し、財政危機からの脱却に取り組んでいる。

そうした中で「元気な宮津」づくりの実現に向けて

- ① 若者が定住できる環境づくり
- ② 地場産業の振興
- ③ 滞在型観光地への転換に向けた地域戦略の展開
- ④ 環境文化の向上

を4つのリード戦略として
「元気な宮津」づくりを推進している。

また、基盤整備・活用については、引き続き主要施策として、限られた財源の中で、効率的な配分をもって、市の発展と市民福祉の向上に全力を挙げている。

○課題

急速に進展する少子高齢化、地域産業の再生など、本市が取り組むべき地域課題は山積となっている。

- ① 地域の骨格である道路ネットワーク整備が遅れ、特に、高速道路は全国のネットワークで見ても、京都府北部域が空白となっており、ネットワーク形成が出来ていない箇所である。

観光や地域連携強化に必要な道路ネットワーク整備は、当地方の活性化には必要不可欠であるが、地方公共団体の力だけでは限界がある。

- ② 一般国道178号は、丹後地域の生活と産業を支える重要な幹線道路で、緊急輸送路としても位置づけられているが、脆弱な風化花崗岩地帯の通過もあり、緊急輸送路としての信頼性の確保が必要である。

また、点在する集落を結ぶ道路についても、災害等に強い道づくりが求められている。

- ③ 社会基盤施設の安心・安全を確保する上で、歩行者等が安心して通行できる構造の歩道整備が必要である。
また、観光振興も含めた景観上の配慮も視野に入れた計画が求められている。

今後の道路行政についての意見・提案

②－２ 地域の目指すべき将来像

人口減少、産業の停滞、地域力の衰退

税制減収、財政悪化、経済力の低下

新たな基盤づくり困難、地域力の減退

3つの現象の繰返しを断ち切り、宮津市の骨格を形成する事業により、滞在型観光地への転換、観光を基軸とする産業の振興、環境文化の向上を目指す。

そうした中で、安心・安全な社会基盤施設の整備を推進する。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
地域活力の向上	・ 京都縦貫自動車道の開通 ・ 鳥取豊岡宮津自動車道（宮津野田川道路）の着手	地域経済の活性化 地域連携強化の促進	
水害等の災害に強い 国土づくり	・ 大手川河川激甚災害対策特別緊急事業の実施	河川改修に併せた道路整備 による安心・安全の確保	
良好な生活空間 ・ 自然環境の形成	・ 公共交通安全施設整備 歩道縦断勾配の解消及び車道との 段差解消等によるバリアフリー化	観光客も含めた、歩行によ る移動の円滑化の確保 及び快適性の向上	